

知的財産を考える市民懇話会(第12回)のご案内

6月24日に決定された「知的財産推進計画2009」は、(1)イノベーション促進のための知財戦略、(2)グローバルな知財戦略、(3)ソフトパワー産業の成長戦略推進、(4)知的財産権の安定性・予見性確保、(5)利用者ニーズに対応した知財システム構築を重点としました。知的財産基本法制定以来、毎年策定される「知財推進計画」は、3年区切りの「第3期」突入という時期を踏まえるとともに、米国発の金融危機のダメージを最も強く受ける日本経済「再生」も見通します。今や「知的財産」は、特許権中心から、「ソフト」「コンテンツ」に領域と重心を移しつつあるようにもみえます。

この懇話会では、著作権や世界標準など、幅広い知財のテーマを取り上げ意見交換してきましたが、書店の棚を眺めると、『2011年新聞・テレビ消滅』(文春新書) = 「アメリカでは2008年多くの新聞が倒れ、多くの街から伝統ある地方紙が消え、『新聞消滅元年』となった。」、『グーグルが日本を破壊する』(PHP新書) = 「検索連動型広告という新しいビジネスモデルによって、時価総額26兆円の大企業となったグーグルは、世界中の情報を支配することで、世の常識とルールを破壊し続けている」、等々、文化・社会のあり方に大きな変化が生まれつつあることを感じさせます。

全世界・全国民を対象として成り立ってきた「マスコミ」の存続が問われ、強化一辺倒だった特許権分野も、パテントロールなどの出現で内部矛盾が顕在化しています。

文化と人間、技術と社会等々のコミュニケーションに生まれつつある大きな変化を、知的財産をキーワードに話し合うため、今回は、「コミュニケーションと知的財産」をテーマに開催します。

どういう展開になるか、興味深いものがあります。皆さんの御参加を、お誘い申し上げます。

「知的財産を考える市民懇話会」は、知的財産の実務に関する話題を中心に12年40回続いた「JSA知的所有権ミニシンポジウム」を発展させ、より広く市民的、国民的立場から、知的財産(権)に関わる多様な課題を取り上げ、自由な立場で考え、議論する場として、2006年6月から開催しているものです。

記

日時：2009年9月12日(土) 13:30～17:00

場所：アカデミー千石学習室B *<従来とまったく違う会場です。ご注意を>*
(文京区千石1-25-3) TEL 03(3946)4430
(都営三田線・千石駅A4出口から3分、山手線・巣鴨駅下車10分)
地図：<http://www.city.bunkyo.lg.jp/gmap/detail.php?id=1994>

内容：コミュニケーションと知的財産

報告1：「知財推進計画2009を読む - 広がる知財と「第3期」の課題」

JSA特許庁分会

報告2：「IT企業戦略と知的財産 - google図書館、『新聞消滅』の衝撃」

(報告者：調整中)

< 話題提供を歓迎します。時間配分の都合上、できるだけ事前に予定をお知らせください。液晶プロジェクトを用意していますので、利用御希望の方は、メモリ等を御持参ください。 >

資料代：500円

主催：知的財産を考える市民懇話会

共催：日本科学者会議(JSA)東京支部特許庁分会

協力：日本科学者会議科学・技術政策委員会

問い合わせ先：野村(jsachizai アットマーク hotmail.co.jp まで)